

令和3年10月

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン

本ガイドラインは、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本バトン協会、大阪府の新型コロナウイルス感染拡大防止の方針を踏まえ、第43回バトントワーリング関西大会に当たり、日本バトン協会関西支部としての留意点をまとめたものです。

1. 全般的な事項

- ・感染防止の為に主催者が実施すべき事項、参加者が遵守すべき事項を整理して提示する。
- ・各事項が遵守されているか、会場内を定期的に巡回、確認する。
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに注意しながら、当日参加者より提出された書面を1ヶ月以上保存する。
- ・終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応について、丸善インテックアリーナ大阪の立地する大阪府の衛生部局と予め検討しておく。

2. 主催者の感染予防対策

- ・丸善インテックアリーナ大阪は基本的に換気ができている施設ではあるが、重ねて更衣室以外の全ての扉を開けて密閉空間にならないようにする。
- ・無観客での開催とするが、選手ひとりに関係者2名までの入館は認める。
- ・無観客なので、招待状は出さない。
- ・密を避ける為に出店は設けない。
- ・館内には同時に3,000人、メインアリーナには100人、サブアリーナには60人、剣道場柔道場60人を上限とする。ウォームアップも短時間で行う。
- ・入館も時差で行い、チェックシートの提出、靴底と手指の消毒、検温をする。37.5度以上の熱があった場合は入館できない。
- ・大阪府コロナ追跡システムのQRコードと、厚生労働省のCocoaアプリを全員ダウンロードを推奨する。
- ・入館時間に余裕を持つ。
- ・開会式、閉会式は司会者による宣言のみで、簡素化する表彰式は行わない。
- ・役員、実行委員、審査員、審判員、引率者、関係者には常にマスクの着用を義務付ける。
- ・入館前と本番演技受付前の場所には、ソーシャルディスタンスを取るためのステッカーを貼る。
- ・通路や階段が密にならないように注意し使用する。
- ・こまめな手洗い、消毒をする為に消毒液は必要と考えられる所全てに設置する。

- ・更衣室は密にならないように注意し使用する。
- ・団体席は観客席を前後左右1席空けて使用する。
- ・人と接する部署の実行委員はマスク（不織布）とフェイスシールド、審査員はマスク（不織布）を着用する。
- ・設営はもちろん、後片付けも実行委員で行う。
- ・基本的に係員はおかず、実行委員も最低限の人数で運営する。
- ・役員、審査員、審判員、実行委員は自己責任において運営に携わる同意書を提出する。

3. 参加者が遵守すべき事項

- ・感染防止の為に主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ①体調が良くない場合
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合。
 - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ・入館の際にチェックシートを提出し、靴底と手指の消毒をし、検温を受ける。
- ・入館、ウォームアップコートに入る前はソーシャルディスタンスを守って並ぶ。
- ・ウォームアップと演技中以外はマスク着用のこと。外したマスクは団体で管理する。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒を行う。
- ・他の参加者、主催者側スタッフとのソーシャルディスタンスを取る。
- ・大きな声での会話や声援はしない。特に移動の通路に気を付ける。
- ・応援は拍手のみとし、声援はしない。
- ・食事は、手洗い、手指の消毒をし、団体席での会話を控える。
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・決められた退館時間には使用した座席を消毒し、帰宅する。
- ・終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること。